

市町村名		渡嘉敷村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	渡嘉敷村観光総合推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ		
	担当部署名	観光産業課	事業実施 (予定)年度	平成24年～令和13年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	持続可能で質の高い離島観光 の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	48,829	50,901	59,595	52,262	44,719
	(b)予算現額	42,981	35,668	42,564	28,616	38,441	
	(c)増減額(b-a)	▲5848	▲15233	▲17031	▲23646	▲6,278	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	42,981	35,668	42,564	28,616	38,441	
	B.執行済額	41,889	33,970	36,104	27,926	33,859	
	うち交付金充当額	33,511	27,176	28,883	22,340	27,087	
	次年度繰越額	-	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	97.5%	95.2%	84.8%	97.6%	88.1%	
予算の状況の説明	観光誘客受入委託業務について、委託料の精算により予算4,472千円を減額した。不用額1,806千円については、労働者派遣個別契約における新型コロナウイルスの影響による委託料の減や旅費の精算などによるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	制作配布PRツール作成・配布 渡嘉敷島MAP(日本語):40,000部・(多言語版):10,000部、A2ポスター:80枚、村PR用ノベルティ(タンブラー、トートバッグ、カトラリーセット):1,000個	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	PR活動への地域事業者派遣:12人	目標	(11人派遣)	(12人派遣)	(11人派遣)	(12人派遣)	
		実績	4人派遣	実績なし	2人派遣	5人派遣	
	広告掲載(沖縄・離島情報):18万部	目標	(20万部)	(18万部)	(18万部)	(18万部)	
		実績	20万部	20万部	20万部	20万部	
外国語スタッフの配置:2人	目標	(3人)	(3人)	(2人)	(2人)		
	実績	2人	2人	2人	2人		
多言語観光案内サイン板制作:4基	目標	(4基)	()	()	()		
	実績	4基					
達成状況説明	PRツールについては、渡嘉敷島MAP(日本語)40,000部、渡嘉敷島MAP(多言語)10,000部、A2ポスター80枚、村PR用ノベルティ(タンブラー、トートバッグ、カトラリーセット)1,000個を作成し県内外イベント参加時のPR活動へ活用した。県外イベントへはきめ細やかなPR案内を行うため、インストラクター等の専門的な知識を有する地元事業者を5名派遣した。 さらに「沖縄・離島情報」へ広告を掲載し20万部を発行するとともに、那覇泊港へ外国語スタッフ2名を配置し、外国人観光客対応を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	年間入域観光客数	目標	(109,578)	(137,000)	(85,300)	(134,800)	()
		実績		49,752	52,515	105,497	
	観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
実績				80%	82%		
進捗状況説明	年間入域観光客数は、目標に届かなかったが前年度から51,923人増加した。全ての期間(各月)において前年度の入域客数を上回り、繁忙期となる令和4年7月から令和4年8月の期間は、前年度同期間と比較して23,398人の増加(267.8%)となった。 アンケートについては、WEB調査、事業者・村民アンケートを実施した。渡嘉敷村に対して魅力を感じている人は、60代以上においては82.5%であったが、それ以外の20代～50代においては全年代において9割以上と高い割合であった。						

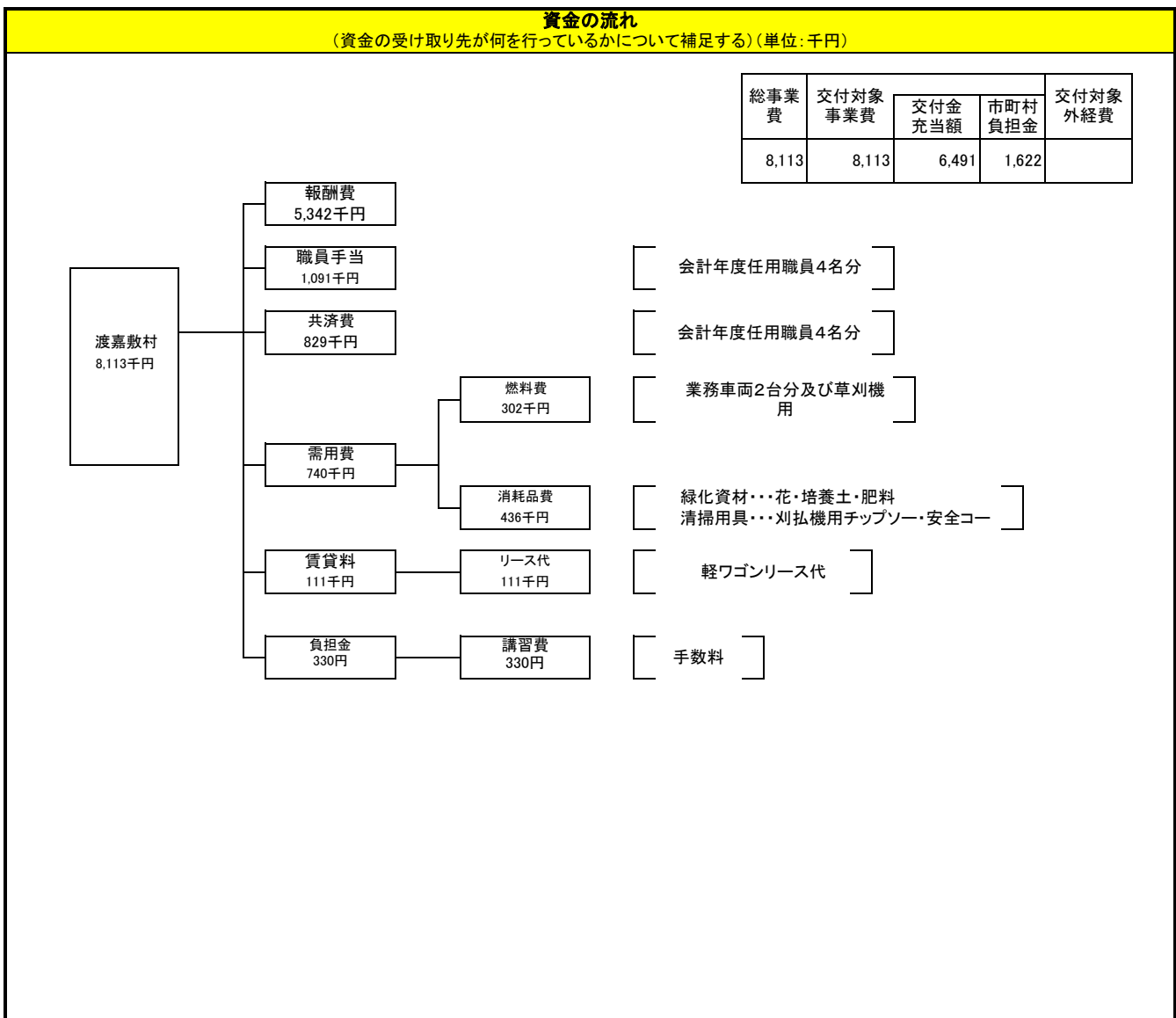
推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(年間入域観光客数) ・新型コロナの影響からの回復期に向かいつつある。急激な観光客増に対応しつつ、満足度の高いツーリズム体験を提供することのできる受入体制を整える。 ・誘客を推進するうえで、ターゲットや方向性を検討する必要がある。 ・感染状況を鑑みつつ効果的に本事業を実施する事で、年度を通して増加した。しかしながら、年度当初の新型コロナの影響により目標を達成する事ができなかった。	(年間入域観光客数) ・アドベンチャーツーリズムを取り入れるなど、閑散期の観光誘客メニューを作成し入域数の平準化を図る。 (アンケート) ・過去の入域数データを参考に、アンケートの実施スケジュールを作成する。
	(アンケート) ・スマホでQRコードを読み取らせる方法で、アンケートを実施している。アクティブシニア層や外国人観光客からの有効な回答数を得られる方法について、さらに検討する必要がある。	
今後の取り組み方針		
(年間入域観光客数) ・地域事業者の意見を踏まえて、観光誘客メニューを作成し、観光誘客に取り組む。 (アンケート) ・実施スケジュールに基づくアンケートに取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	33,859	33,859	27,087	6,772	
	<pre> graph LR A[渡嘉敷村 33,859千円] --> B[旅費 831千円] A --> C[役務費 385千円] A --> D[委託料 31,906千円] A --> E[使用料 737千円] B --> B1[職員職員 339千円] B --> B2[臨時職員等492千円] C --> C1["(株)林檎プロモーション385千円"] D --> D1["(株)JTB沖縄20,647千円"] D --> D2["(株)琉球新報開発11,259千円"] E --> E1["(株)水中造形センター517千円"] E --> E2["(株)マーケティングガレッジ220千円"] B1 --- B1_desc["県内、県外イベントPR活動にかかる旅費"] B2 --- B1_desc C1 --- C1_desc["雑誌「沖縄・離島情報」への広告掲載"] D1 --- D1_desc["労働者派遣個別契約委託業務"] D2 --- D2_desc["渡嘉敷村観光誘客受入委託業務"] E1 --- E1_desc["マリンドайビングフェア出展料"] E2 --- E2_desc["沖縄観光&地域物産展 出展料"] </pre>				

資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考え。 ○不用額は事業費の5%となっており、ほぼ妥当な予算規模と考える。 ○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	渡嘉敷村美化清掃事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	魅力的な観光地として景観形成を図るため、村内の海浜、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	9,790	9,886	11,627	10,672	9,140
	(b) 予算現額	9,790	7,042	9,098	8,405	8,598	
	(c) 増減額(b-a)	0	-2,844	-2,529	-2,267	-542	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	9,790	7,042	9,098	8,405	8,598	
	B. 執行済額	7,934	5,102	8,938	7,880	8,113	
	うち交付金充当額	6,347	4,081	6,910	6,304	6,491	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	81.0%	72.5%	98.2%	93.8%	94.4%	
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	花木植栽10箇所実施	目標	(花木植栽8箇所)	(花木植栽8箇所)	(花木植栽10箇所)	(花木植栽10箇所)	
		実績	花木植栽8箇所	花木植栽8箇所	花木植栽10箇所	花木植栽10箇所	
	美化清掃10箇所実施	目標	(美化清掃8箇所)	(美化清掃8箇所)	(美化清掃10箇所)	(美化清掃10箇所)	
		実績	美化清掃8箇所	美化清掃8箇所	美化清掃10箇所	美化清掃10箇所	
達成状況説明	観光客が利用する公共施設や展望所等10箇所(渡嘉敷港旅客待合所、港の見える展望台、アラン展望台、前岳林道東屋、照山園地、美花原遊歩道、阿波連漁港、阿波連園地、渡嘉志久海岸公園、ユクンチジ花壇)を対象に、公衆トイレ及び施設等の清掃作業、						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		87%	92%	86%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	公衆トイレや展望台の清掃、除草作業を実施したことで、観光整備が行き届いた魅力ある観光地として景観を維持することができた。観光客を対象としたアンケートでは、本事業10箇所において「きれい」との肯定的な回答は86%だった					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今年度は観光客が増加傾向にありましたが、作業員4名の連携によって整備が行き届き景観を維持することができた。しかし、作業員の高齢化は解消できないため今後も取組が必要である。	雇用携帯の見直し、通年を通して人材の確保の必要がある。
	今後の取り組み方針	
地域住民に美化清掃事業の周知を行い人材の確保に努める。		

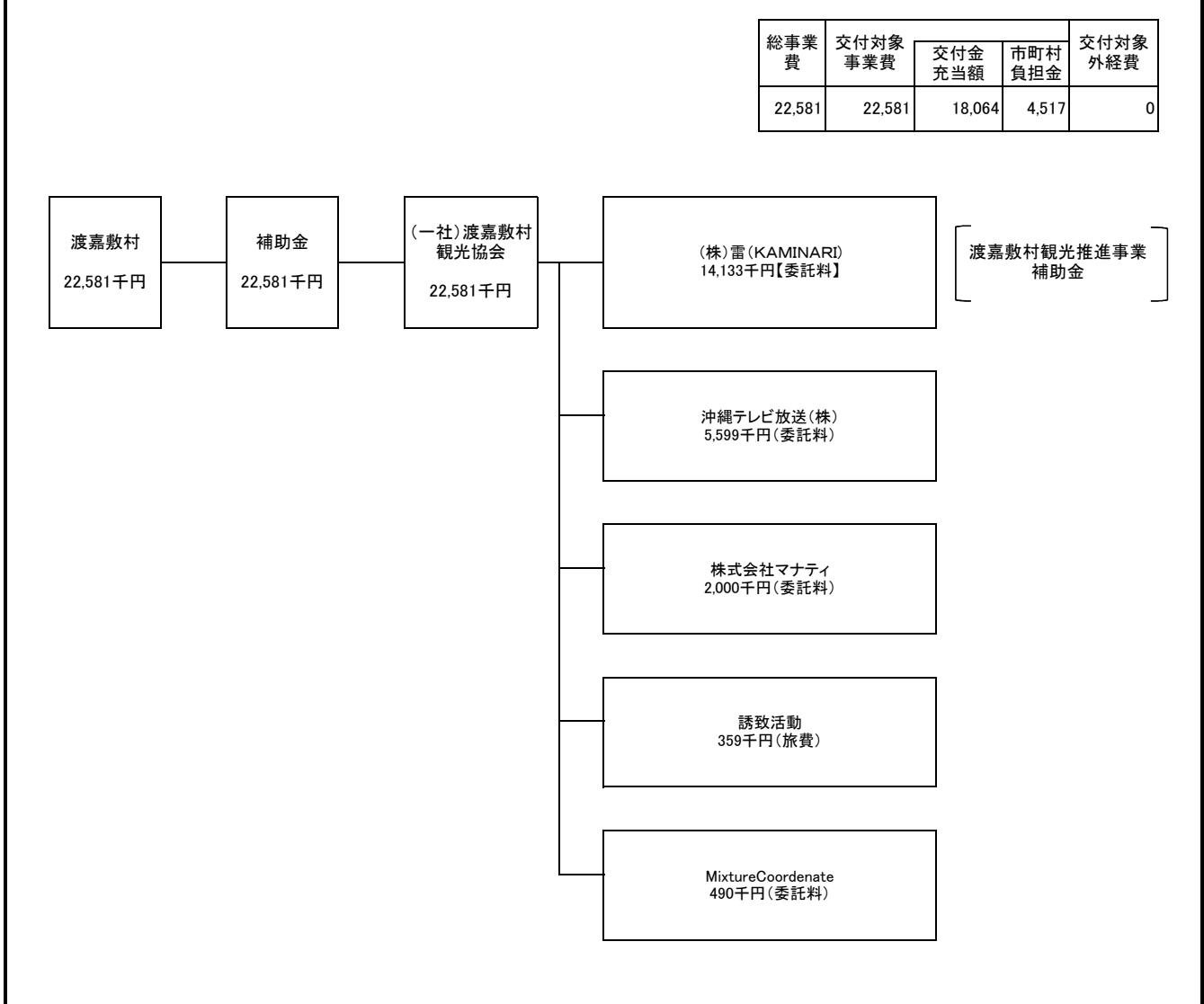


資金の流 れ、費 目・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内公募により採用しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○清掃箇所に対し作業員4名の人件費と作業に伴う需用費を支出。予算規模についても適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途について、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時に支出等に関する書類により確定、適切であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	渡嘉敷村観光振興事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-3-(10)-ウ		
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会への支援や、修学旅行等の誘致活動に取組む観光協会への支援を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		(a) 当初予算額	8,800		17,800	17,800	33,135	
		(b) 予算現額	7,200		3,600	8,800	24,135	
		(c) 増減額(b-a)	-1,600	0	-14,200	-9,000	-9,000	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	7,200	0	3,600	8,800	24,135	
		B. 執行済額	6119		3,200	1,100	22,581	
		うち交付金充当額	4895		2,560	880	18,064	
		次年度繰越額	0	0		0		
		執行率(%) (B/A)	85.0%	#DIV/0!	88.9%	12.5%	93.6%	
予算の状況の説明								
マラソン及びまつりの実施に向け協議等を行いました。令和4年度については実施を見送るという結果になりました。その為、補助予定であった9,000千円全額を第4回補正で減額しております。執行済額については、観光協会の実績報告を精査した結果、約1,550千円の返還が発生したため、年度内で受入し、交付金の実績報告に反映しております。								
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況						
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		観光協会への支援	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
			実績		実施	実施	実施	
			目標	()	()	()	()	
実績								
達成状況説明	渡嘉敷村の観光振興を図るため、誘客活動や修学旅行等の誘致活動に取組む観光協会を支援した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)		
		年間入域観光客数	目標	()	(137,000)	(85,300)	(134,800)	()
			実績		49,572	52,515	105,497	
		(参考指標) 修学旅行受入校数	目標	()	(12校)	(10校)	(10校)	()
			実績		0校	0校	0校	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値には達しなかったが、前年度比で約2倍に相当する105,449人を達成することができた。 ・修学旅行の受入については、新型コロナウイルス感染症の影響により、受入を予定していた全ての学校が中止(キャンセル)となった。 							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>修学旅行の中止(キャンセル)については、県内でも夏と冬にコロナの感染者が増加したことで実施を見送られたことが最大の要因と考えられる。 マラソンやまつりの実施については、感染拡大が起きている最中は村内の医療体制を考慮すると実施に踏み切る判断が難しい状況であった。</p>	<p>引き続きSNSを活用した島内観光のアピールを継続しつつ、修学旅行受入に向けた県内外への誘致活動を観光協会を中心に取組む。</p>
今後の取り組み方針		
<p>県内の感染状況を注視しつつ、渡嘉敷村観光協会を中心に受入体制の整備・構築及び村内各事業者や観光客へのPR等に対する支援を継続し、観光誘客に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

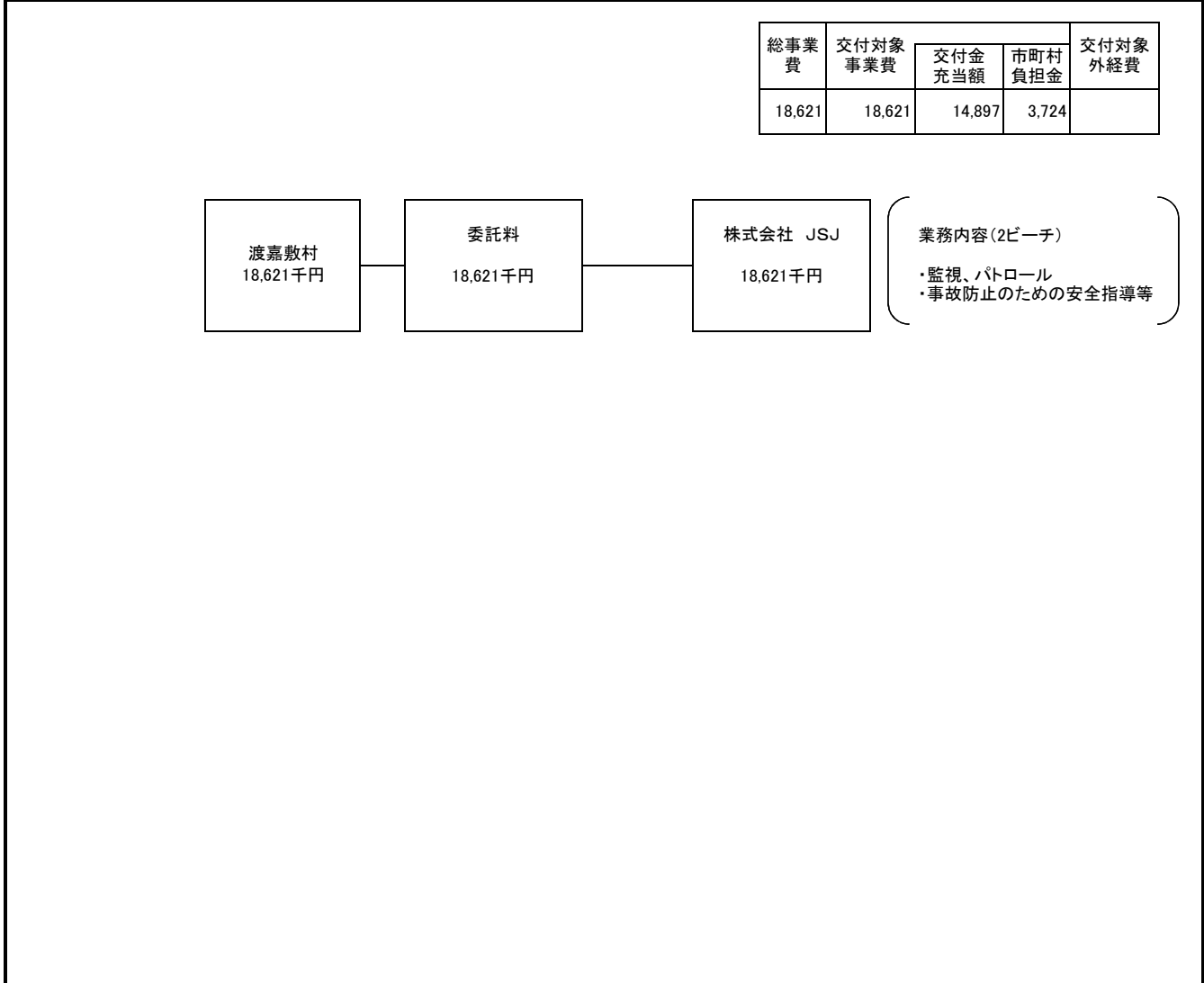


資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助事業者は、交付金交付要綱による審査により決定していることから、妥当であると考えられる。 ○実績報告を精査し妥当な予算規模と考える。 ○費目、用途については補助金交付要綱の目的に即し、必要なものであったと判断する。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	渡嘉敷村海域安全確保事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ			
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	令和元年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	村内の2ビーチにおいて、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		(a)当初予算額	-	10,534	19,063	19,240	24,638	
	(b)予算現額	-	10,534	18,331	18,714	18,621		
	(c)増減額(b-a)	#VALUE!	0	-732	-526	-6,017		
	(d)繰越額	-	-	-	-	-		
	A.計(b+d)	#VALUE!	10,534	18,331	18,714	18,621		
	B.執行済額	-	9923	18331	18,714	18,621		
	うち交付金充当額	-	7938	14664	14,971	14,897		
	次年度繰越額	-	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	#VALUE!	94.2%	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	不用額6,017千円については、委託の精算によるものである。							
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7、8月 阿波連ビーチ 1名追加)		目標 (7月～10月末 常駐配置)	(4月～10月末 常駐配置)	(4月～10月末 常駐配置)	(4月～10月末 常駐配置)		
		実績 7月1日～10月31日 配置	4月18日～10月31日 配置	4月24日～10月31日 配置	4月24日～10月31日 配置			
達成状況説明	4月23日から10月31日までの間、村内2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)1において水難救助員4名が常駐し監視業務を行った。夏季繁忙期(7月1日～8月31日)においては、阿波連ビーチへ1名増員し、5名体制にて監視業務を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故		目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
			実績	/	0件	0件	1件	/
			目標	()	()	()	()	()
実績			/				/	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・村内2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)において令和4年4月23日～令和4年10月31日の間、水難救助員等を配置し、ビーチにおける事故防止と安全確保を図ることが出来た。 ・令和4年度においては、遊泳者の体調不良に起因するものではあるが死亡事故が1件発生した。遊泳中の早期事故発見はもちろんのこと、入水前の健康管理についても遊泳客への十分な周知・指導が必要である。 ・村内2ビーチを47,495名の方が利用した。 							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチ内に遊泳監視区域を設定したうえで、水難救助員等を配置しているが、区域外を利用する遊泳者も含めた監視活動を実施している。夏季繁忙期においては1名の増員を行ってはいるが、遊泳者の状況によっては、十分な監視体制の確保が困難となる。 ・令和4年度においては、遊泳者の体調不良に起因するものではあるが死亡事故が発生した。遊泳中の早期事故発見はもちろんのこと、入水前の健康管理についても遊泳客への十分な周知・指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチにおける事故防止と安全確保は、「監視体制の確保(水難救助員等)」と「遊泳者(ビーチ利用者)による利用ルールの遵守」から可能となると考える。 ・入水前の、ルール周知の徹底を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・水難救助の講習会やトレーニングにより、人材の確保・育成に努め、状況に応じた更なる監視体制の構築を図る。 ・村HP掲載や、ビーチ入り口における利用ルール看板の設置や、監視員にリーフレットを携帯させるなど周知を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



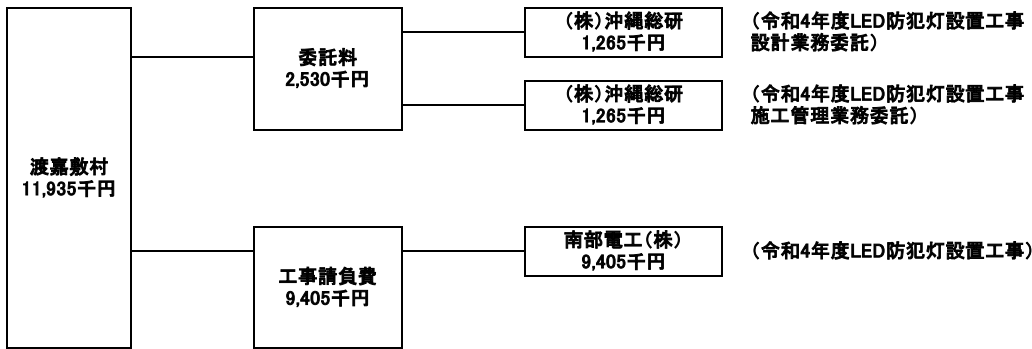
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考え ○不用額は事業費の精算によるものであり、ほぼ妥当な予算規模と考える。 ○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	安心安全な村づくり推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ア) 「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-1		
事業内容	持続可能な観光地の形成に向けて、村内の防犯灯が無い暗い道にLED防犯灯を設置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度					
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		11,814				
			11,935				
			121				
			0				
			11,935				
		B. 執行済額	11935				
		うち交付金充当額	9548				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	LED設置工事において、資材単価見直し及び設置基数を1基増したことにより121千円増額した。設計委託業務、施工管理委託業務、設置工事ともに適正に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度				
	LED防犯灯設置 18箇所	目標	(18箇所)	()	()	()	
		実績	19箇所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・LED防犯灯は当初18基の設置を予定していたが、土地所有者との調整がつかなかったため設置場所の変更を行った。また、場所の変更や設置工事時の住民からの要望等も受け1基増設し、19基を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度		目標値(年度)	
	観光客を対象としたアンケートを実施し、集落内(夜間)の安心さ・安全性に関する設問に満足、やや満足と回答した割合が80%以上。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		未実施			
	進捗状況説明	・令和4年度末での工事完了となったため、令和4年度内にアンケートを実施することができなかった。令和5年度以降は継続的にアンケート調査を実施し、本事業による効果検証を行っていく。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・工事完了が令和5年3月であったため、令和4年度内にアンケートを実施し、効果検証を行うことが出来なかった。	・令和5年度以降アンケートを実施する。
		・本事業では、夜間でも安心安全な観光地とすることにより、滞在型観光客の誘致を図ることを目的としている。村を訪れる観光客や村内の宿泊事業者とともに新たなアピールポイントとして周知していくことで、入域観光客の増につなげる。
今後の取り組み方針		
<p>・村の出入り口となる渡嘉敷港港待合所にてアンケートを配置し、本事業による効果検証を実施していく。</p> <p>・村からの情報発信のみならず、村内事業者や観光協会・商工会等と連携し、多岐にわたる情報発信が出来るように取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,935	11,935	9,548	2,387	0



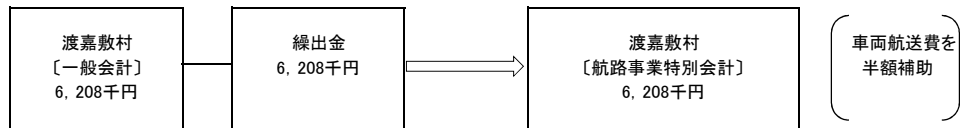
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者、工事請負業者については指名競争入札で選定しており、適正であったと考えている。 ○入札執行前に参考見積徴収も実施しているため、事業規模としては適正であったと考えている。 ○費目・用途については完成時に検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	自動車航送コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4章-2-(8)-ア		
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成28年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し、運賃を半額補助する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,056	4,170	4,233	5,112	5,891
		(b) 予算現額	4,564	5,456	5,839	5,112	6,824
		(c) 増減額(b-a)	1,508	1,286	1,606	0	933
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		4,564	5,456	5,839	5,112	6,824
	B. 執行済額		4564	5456	5839	6,291	6,208
	うち交付金充当額		3651	4365	4671	5,033	4,967
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	123.1%	91.0%
予算の状況の説明		令和4年12月期に、事業計画の見直しを行い、実績のペースより増額変更を行ったが、その後の推移において見通しより伸びなかった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	年間自動車航送台数 自動車(二輪車を含め)	目標	(550)	(560)	(730)	(940)	
		実績	745	790	1,020	980	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	コロナの影響が大きかった令和3年度より、最終的に利用が下回った。観光客が大幅に増えたことで、観光業を主とする村民が多い中、仕事が忙しくなるなど、逆に那覇に出る機会が減ったことも考えられる。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		99%	99%	99%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成30年度よりアンケートを実施し、本事業について99%の方から「満足している」との回答を得ている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本事業の利用者は安定しており、当初目標を上回っている。新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せ始めたことから、人の動きが活発化したことにより、沖縄本島へ出る村民が増えたことから、目標値を昨年度より高く設定したが達成できた。</p>	<p>村民に十分に周知されており、生活に役立っていると考えている。免許証のコピーを求めないなど(目視にて確認)利用しやすさについても、改善できることはないか見直しながらすすめていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>例年目標値を上回る利用があり、住民へ認知もされているため、事業の継続実施に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,208	6,208	4,967	1,241	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、渡嘉敷村役場船泊課のみとなるため妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については妥当だと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、車両航送運賃を適正に支援しているため妥当だと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、各停時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		渡嘉敷村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	3,300	3,300	3,300	3,300	1,200
	(b) 予算現額	2,100	1,300	1,300	1,300	1,200	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,200	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 2,000	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	2,100	1,300	1,300	1,300	1,200	
	B. 執行済額	60	210	120	60	480	
	うち交付金充当額	48	168	96	48	384	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	2.9%	16.2%	9.2%	4.6%	40.0%	
予算の状況の説明							
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	定期船欠航時、及び予定運行時刻変更時のヘリコプターチャーター運賃の支援		目標 (110回)	(110回)	(110回)	(30回)	
			実績 7回	4回	2回	12回	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	前年同様にヘリコプターチャーター利用回数が大幅減となり目標を下回る結果となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上を)含めアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。		目標 (80%)	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	100%	100%	100%	
			目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	利用者は大幅に減少しているが、アンケート調査では利便性を確保出来ているという結果が出た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者へのアンケート調査の結果、ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民及び観光客の交通手段の利便性の確保ができた。新型コロナの影響により減少していた観光客数も昨年5万人から今年9万人と回復してきており、利用回数も増えた。予想の難しい台風時の欠航に対応する為に必要なことから、利便性が確保されていると回答する方がほとんどだった。	利用回数の増加が予想されるため事業費の増額を検討する。
今後の取り組み方針		
アンケート調査を継続し、利便性の確保の確認や当該事業のあり方を検証する。また、令和5年度の実績に応じて事業費を算定し直す。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
480	480	384	96	0



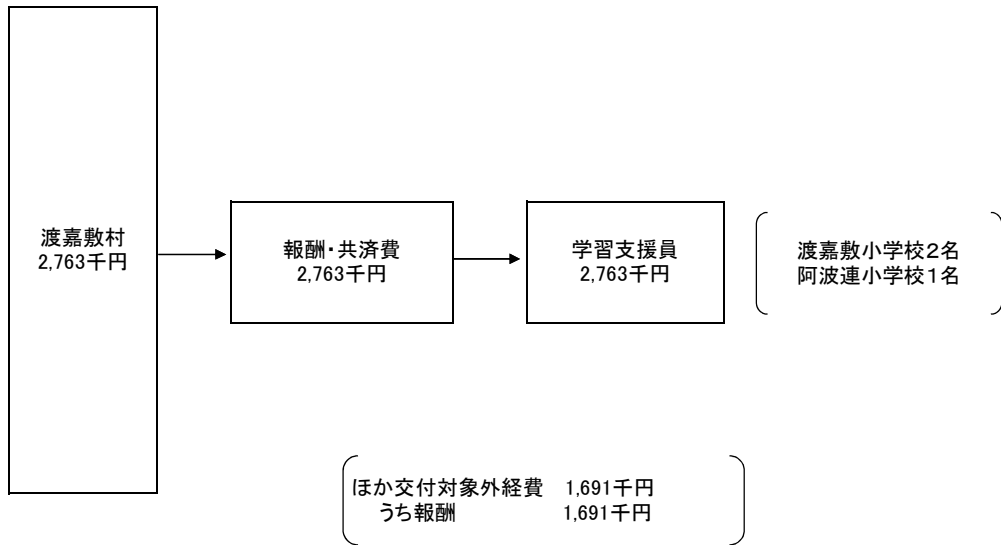
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、エクセル航空(株)の1社のみが事業者として参入しているため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、これまでの補助回数の実績等により算出しているため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業実績に基づき必要なものに限定されていると考える。

市町村名		渡嘉敷村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	小学校学習支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童の学力に応じた個々の学習指導を行い、学力の向上を図るため、村立小中学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		6,722	6,415	9,562	10,724	5,765
			4,967	4,888	7,354	9,241	5,762
			-1,755	-1,527	-2,208	-1,483	-3
			0	0	0	0	0
	B. 執行済額 うち交付金充当額		4,245	3,793	3,182	5,597	2,763
			3,396	3,034	2,545	4,477	2,210
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	85.5%	77.6%	43.3%	60.6%	100.0%	
	予算の状況の説明	学習支援員配置については、本事業と沖縄県の複式学級教育改善事業を活用して実施しているが、当初予算算定時においては、複式学級教育改善事業の補助が確定していないため、支出予定額全額を本事業にて計上している。事業決定後、複式学級教育改善事業補助額を減額している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	渡嘉敷小学校へ支援員を2名配置 阿波連小学校へ支援員を2名配置		目標 (4名) 実績 3名	(4名) 2名	(4名) 3名	(4名) 3名	
			目標 () 実績	() 実績	() 実績	() 実績	
	達成状況説明	令和4年度は渡嘉敷小学校2名、阿波連小学校1名の計3名配置でスタートし、年度途中も募集を行ったが応募者がいなかったため、目標の4名配置は達成できなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+7.9ポイント以上		目標 () 実績	(9.2) 7.9	(3.1) 4.7	(7.9) 4.2	() 実績
			目標 () 実績	() 実績	() 実績	() 実績	() 実績
			目標 () 実績	() 実績	() 実績	() 実績	() 実績
	進捗状況説明	目標値の沖縄県学力到達度調査における県と村の全体平均正答率の差が、+7.9ポイントを下回る+4.2ポイントという結果となった。令和4年度の到達度調査の結果(平均正答率)は、小5国語(村68.4%、県68.8%)、小5算数(村46.4%、県48.3%)、小6国語(村67.6%、県65.9%)、小6算数(村70.6%、県57.5%)である。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	年間を通して学習支援員の募集を行ってきたが、目標の人員確保ができなかった。目標値には届かなかったが、県の全体平均正答率を上回った結果となり、これまでの本事業を活用した取組を継続することで、児童の学力向上が図られていると考える。	年度始めから人員確保ができなかったため、計画した人員の配置ができるよう継続して募集を行う。
	今後の取り組み方針	
今後も人員不足の状況が想定されるため、現在配置している支援員の継続意思の確認や、情報収集を行うことで人員確保に努め、本事業を活用した取組を実施し児童の学力向上を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,454	2,763	2,210	553	1,691



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・選定は有資格者、経験者を採用しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・有資格者の支援員の時給については、県の時給との均衡を考慮して設定しているため、予算規模は適正であると考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については、実績に基づいており適正であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-② 児童・生徒派遣支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(2)-ウ			
	担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
					Ⅲ-3-(1)			
事業内容		村外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせるとともに、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会(県大会や全国大会等)に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。						
効果発現年度		<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	3,460		2,288	2,715	3,306	3,486
		(b) 予算現額	1,397		2,110	517	1,884	3,486
		(c) 増減額(b-a)	-2,063		-178	-2,198	-1,422	0
		(d) 繰越額	0		0	0	0	0
		A. 計(b+d)	1,397		2,110	517	1,884	3,486
		B. 執行済額	1,555		1,714	420	736	1,747
		うち交付金充当額	1,243		1,370	336	589	1,397
		次年度繰越額	0		0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	111.3%		81.2%	81.2%	39.1%	50.1%
予算の状況の説明		不用額の1,739千円については、大会への派遣期間の短縮や派遣を取りやめた大会があったことで派遣費の減額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	阿波連小学校児童派遣 5件	目標	(4件)	(4件)	(5件)	(5件)		
		実績	3件	1件	2件	3件		
	渡嘉敷小学校児童派遣 4件	目標	(3件)	(3件)	(4件)	(4件)		
		実績	3件	1件	1件	5件		
	渡嘉敷中学校生徒派遣 11件	目標	(13件)	(10件)	(11件)	(11件)		
実績		7件	3件	6件	10件			
【参考指標】派遣児童生徒(累計)	目標	()	()	()	()			
	実績	192名	71名	131名	294名			
達成状況説明		荒天による船舶の欠航等により派遣できなかった大会もあるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止がほぼなかったため、派遣人数が増加した。村外のスポーツ大会や文化事業発表会に参加することで、離島小規模校ではできない貴重な体験をすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		82%	78%	84%	
進捗状況説明		保護者へのアンケート調査において、3校の児童生徒が村外で実施されたスポーツ大会及び文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校ではできない体験をすることができたと回答した割合は、84%(32人/38人)だった。						

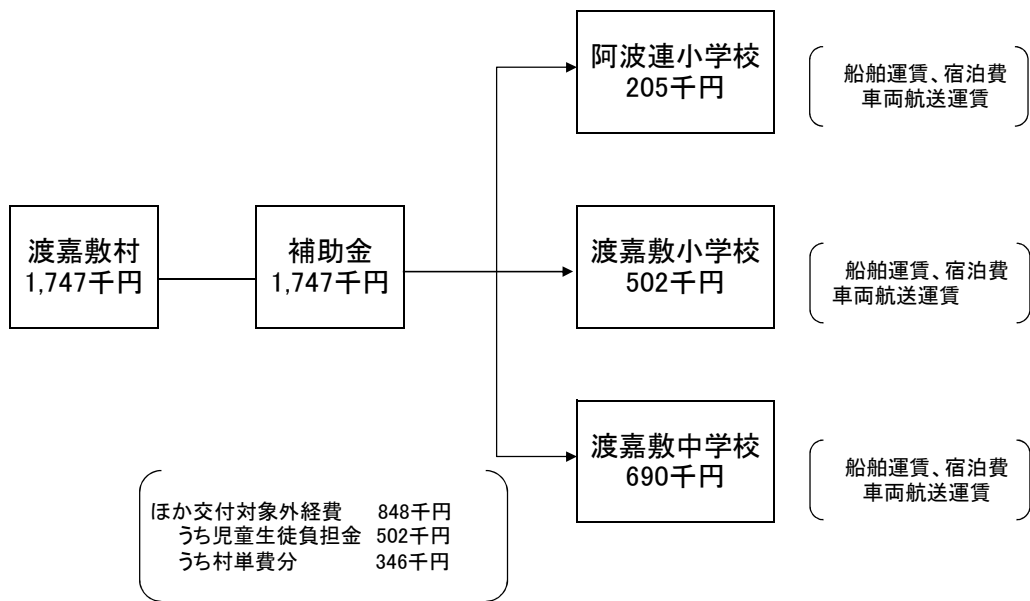
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症の影響による大会等の中止がほぼなかったことで派遣人数は増加したが、荒天による船舶欠航のため参加できない大会があった。	村内では体験できない各種教育活動に派遣することで、児童生徒の競争意識を高めるとともに、船舶の欠航等により予定の大会に派遣できない場合の内容を検討していく必要がある。

今後の取り組み方針

村外で実施されるスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に児童生徒が継続して参加することで、広い視野を持たせるとともに、児童生徒の競争意識や交流機会を確保する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,595	1,747	1,397	350	848



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 各学校による申請に対し補助を行っているため妥当であったと考える。 予算規模は適正な規模で確保されており、船舶欠航の影響があったものの妥当であったと考える。 渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程により負担しており、妥当であったと考える。 費目・用途については、真に必要なものか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認しているため、適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	家庭教育支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-イ	
担当部署名	渡嘉敷村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成28～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の基準及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	14,635	13,402	12,727	15,603	13,355
		(b)予算現額	8,243	9,000	7,674	12,583	9,473
		(c)増減額(b-a)	-6,392	-4,402	-5,053	-3,020	-3,882
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	8,243	9,000	7,674	12,583	9,473
		B.執行済額	8,160	8,999	7,674	6,561	7,395
		うち交付金充当額	6,528	7,199	6,139	5,249	5,916
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.0%	100.0%	100.0%	52.1%	78.1%
予算の状況の説明		対象児童生徒数52名に対して、参加児童生徒が約6割となったため当初予算の減額。新型コロナウイルス感染予防による授業減。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	小学校5年(国語・算数)76授業 小学校6年(国語・算数)76授業 中学校1年(英語・数学)76授業 中学校2年(英語・数学)76授業 中学校3年(英語・数学・国語)168授業		目標 (220授業)	(420授業)	(452授業)	(472授業)	
			実績 240授業	382授業	384授業	369授業	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	対象人数54名に対し31名も参加になり、前年度より参加率は上がっている。新型コロナウイルスの感染により現地支援員が来島出来ず授業数が減となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	学習塾で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1点以内とする。		目標 ()	(-14.1点以内)	(-14.1点以内)	(-14.1点以内)	()
			実績	-24.1点	-41点	-21.2	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	全国平均点から-14.1点以内を目標に取り組んでいたが、届いていなかった。昨年度よりは、差は縮まっている。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(授業数) 新型コロナウイルスの影響や海上時化で、現地支援員が来村出来ず授業を実施出来ない日があった。何度かオンライン会議システムで各家庭で授業を実施してみたが、接続出来ない児童生徒もいた。	(事業数) 今後、海上時化の際には、直ぐにオンライン会議システムでの実施に切り替えられるように、事前に児童生徒に機器の使い方をしっかり指導する。
	(全国平均との差) ・本村児童生徒の点数差が前年度と比べると差は縮まっている。 ・学年別では、-14.1点以内に近い学年もあった。	(全国平均との差) ・今後も、児童生徒の苦手な単元などを重点的に強化する。
今後の取り組み方針		
<p>(事業数) 学習支援員が来島出来ない場合のライブ授業への切り替えをスムーズに行えるよう、事前に機器の操作方法をしっかりと教える児童生徒や保護者に教える。</p> <p>(全国平均との差) 今後も毎回、理解度テストなどを行い学力の定着度を測り更なる学力向上に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
7,395	7,395	5,916	1,479	



オンライン学習塾の運営

- ・講師の選定
- ・使用機器の選定
- ・システムの構築
- ・現場支援員の確保、指導

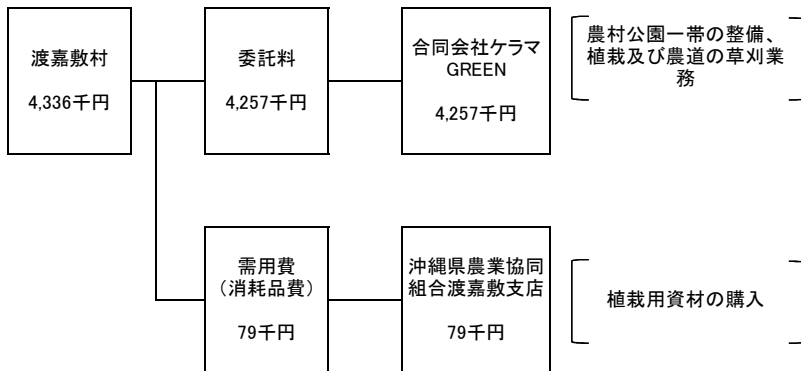
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・受託業者は企画提案募集で選定しており妥当である。 ・費目、使途については清算段階で検査をしており、事業目的達成のために必要、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	渡嘉敷村農村整備振興事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4-3-(7)-キ			
担当部署名	観光産業課	事業実施 (予定)年度	令和4年～令和13年	沖縄振興基本方針 該当箇所	魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献 Ⅲ-1-(6)			
事業内容	農村地域の整備を行い、魅力と活力のある持続可能な農業振興を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況	(a)当初予算額	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	4,416
		(b)予算現額						4,416
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	0
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	0	0	0	0	0	4,416
	B.執行済額							4,336
	うち交付金充当額							3,469
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.2%
	予算の状況の説明		委託契約分は4,257千円満額執行済。需用費の部分において不用額が発生している。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	農村公園一帯の植栽・整備及び農道の草刈		目標 ()	()	()	(実施)		
			実績			実施		
			目標 ()	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	植栽や草刈等の委託業務を全て完了している。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)	
	村民・観光客へのアンケート (農環境が改善した80%以上)		目標 ()	()	()	(80%)	()	
			実績			80%		
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	農道の整備等を行ったことで農業従事者の意欲向上に繋がった。 令和4年度開通を予定していた新道の開通が見送られたことで、観光客の利用は見込み通りにはならなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	村内で、当事業規模の業務を受託できる事業者が限られており、事業を計画しても委託先が見つからないというリスクが常に発生している。そのため、事業の委託先となる事業者の継続確保が課題である。	令和5年度の開通を視野に入れ、継続して管理・整備を実施する。また、農道の草刈等についても継続することで農業従事者の利便性と意欲の向上に努める。
	今後の取り組み方針	
引き続き農道や公園付近の維持管理に努め、豊かな自然と農業の調和した環境を保護していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,336	4,336	3,469	867	



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は指名競争入札により選定しており、妥当であると考え。 ○不用額もほぼ発生しておらず、妥当な予算規模と考える。 ○用途については、検査を実施しており目的に則し必要な物であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	